



録画配信 

障害者就労

つぶやき
障害者就労3倍増、完全雇用は実現できる！

戸田の会
酒井 郁郎 議員

Q 障害者就労の3倍増を

A 熱心に、真摯に、働きかけていく

議員 障害者にとって就労は大きな課題。岡山県総社市は障害者就労を6年で6倍増に成功した。要因として市長のリーダーシップが大きい。特に一般企業に対する、障害者の仕事確保のためのトップセールスに情熱をもって取り組んでいる。市長の所感は。

市長 障害者の就労拡大について、企業と市民に、直接、熱心に、真摯に呼びかけていく。障害者からの調達については、目標額の達成のみならず、新たに調達できる物品や役務の開拓にはげむ。

Q 埼京線沿線の環境空間は良い土地利用を

A 道路整備などの条件付けは困難

議員 埼京線沿線の両側には、環境空間が広がる。現在、JRと市とで、住居系用途の制限緩和が検討されている。今後、未利用の環境空間は、JRによる賃貸住宅等での利用が検討されているそうだが、本市にとってプラスになるよう、無制限に住居系用途の利用を認めるのではなく、道路整備などを条件に加えるべきだ。

環境経済部長 JRの所有地であり、条件付けは困難。

議員 一たび開発されれば、長期間にわたって利用が固定される。3月末の期限ありきでなく良い内容を目指すべき。



埼京線沿線には荒涼とした環境空間が広がる



録画配信 

消防分署 建て替え

つぶやき
最も古く使いづらい西部分署の早急な建て替えを！

戸田の会
矢澤 青河 議員

Q 西部分署の整備と免許の補助推進を

A 施設整備と免許補助の検討を進める

議員 築53年、老朽化が進む消防西部分署の課題は。

消防長 屋外訓練スペースや女性仮眠室が確保出来ず、導線も複雑。狭いため同敷地内への建て替えも難しく、代替地の確保などが課題。施設整備の検討を行う。

議員 消防職員の運転免許補助の近隣市の状況は。大型免許は個人負担が大きいため補助できないか。

消防長 県内の消防26本部中、19本部で補助を実施。運転免許の補助について前向きに検討を進める。

Q 老朽化が進むプリムローズの再整備を

A 時代のニーズに合った施設を目指す

議員 築32年のプリムローズは老朽化が進み、大規模改修を予定。施設への要望や現状と今後について。

こども健やか部長 令和7年から設計、令和9年から工事を予定。吹抜のガラス窓の雨漏りや照明の暗さ、和式トイレの改善など課題も多い。一方、屋内運動場やダンス・演奏スタジオ、ミニキッチン設置などの要望がある。時代のニーズにあった施設を目指す。

議員 デザイン重視の特徴的な建物構造で、大規模修繕だけでは改善が難しく、維持管理が高額になるなどの懸念がある。建て替えを含めた検討を要望する。



プリムローズの施設の課題



録画配信 

習い事への助成金

つぶやき
夜も利用可のドッグランは需要も多いはず

立憲民主とだ
小金澤 優 議員

Q 所得制限等なく月謝や入会金に補助を

A 他市の取り組み事例等を参考に調査研究する

議員 子供たちの習い事は多岐にわたっており、その中から自分にあった「好きなもの」を見つけて欲しい。そのためにも、多くのことにチャレンジできるよう手助けが必要ではないか。

こども健やか部長 子供たちが、習い事によりさまざまな個性や才能を伸ばす機会を得ることは、将来の可能性や選択肢を広げるための一助となるものと考えている。一方で、行政が取り組むべき事業としては、将来、進学や就職などに大きな影響が出ないよう、低所得者世帯を対象とした学習支援事業を実施しており、今年度から対象者を高校生までに広げ、大学受験料や模試受験料の支援を開始したところである。議員提案の所得制限などを設けない、対象年齢全ての子育て世帯に対する習い事の月謝や入会金への支援については、多額の財政負担が生じることから、施策の優先性や費用対効果を鑑み、現時点では考えていないが、先行する他市の事例などを参考に調査研究を進めていく。

その他の質問

Q 公園や市管理地にドッグランを造ってほしい。

A 適切に運営できる公園施設・管理体制が必要。



公園や市管理地にドッグランを



録画配信 

市民要望

つぶやき
市議会議員生活32年、最後の一般質問です

日本共産党戸田市議団
花井 伸子 議員

Q きめ細やかな相談業務を

A 関係機関と連携し丁寧に対応する

議員 日本共産党戸田市議団は市民のみなさんの声をお聞きして市の予算や市政運営に活せるよう「市民アンケート」を実施し、市長に要望書を提出した。分野別に要望が多かったものの上位と、具体的に記された声について、現時点での市の対応と考えるについて質問する。①安全・安心な学校給食の無償化②0・1・2歳児保育料の負担軽減③医療的ケア児への対応④介護保険料・国保税の引き下げ⑤トコバスの増便・ルート増設・両回り運行⑥歩道の整備⑦早急な治水対策の強化⑧避難所・備蓄品⑨温暖化対策⑩納税及び福祉相談業務について。

各部長 ①地域間格差が生じないよう国で対応すべき課題②近隣自治体等の動向を注視し研究する③施設拡大を引き続き検討する④介護保険、国民健康保険の運営ができるよう必要な保険料・税の設定を進める⑤運転手不足の深刻化など、多くの課題がある⑥条例等に基づき、有効幅員の確保やバリアフリーの視点を取り入れた構造とする⑦引き続き、部局横断的な取り組みを進めていく⑧見直しを続け増強に努める⑨環境施策を総動員して脱炭素社会の実現を目指す⑩総合的な観点を踏まえ適切に対応するとともに関係機関との連携を図り丁寧に対応する。

議員 地方自治の理念にのっとり「市民の声にどうすれば応えられるか」の視点で取り組んでほしい。



建て替え予定の西部福祉センターはコミュニティーと防災の拠点へ